

経営比較分析表（令和6年度決算）

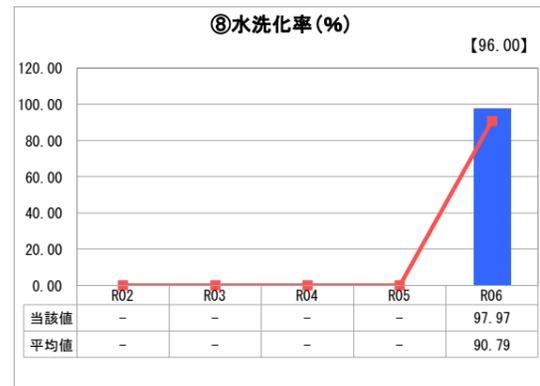
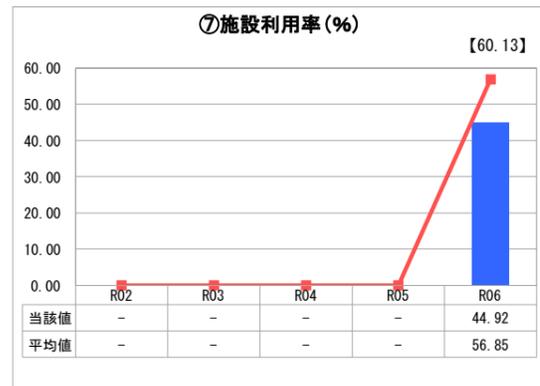
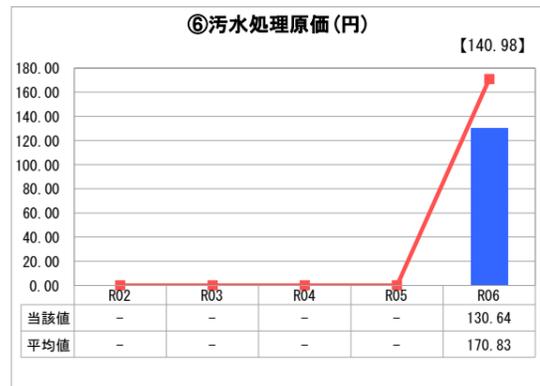
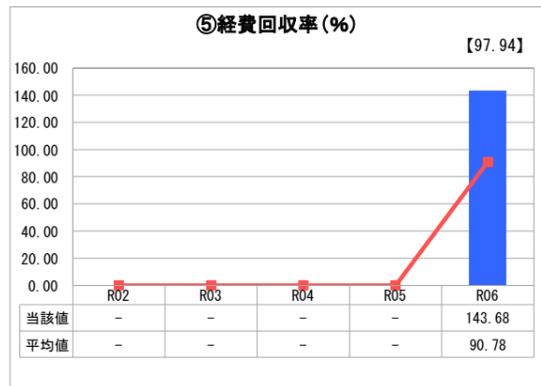
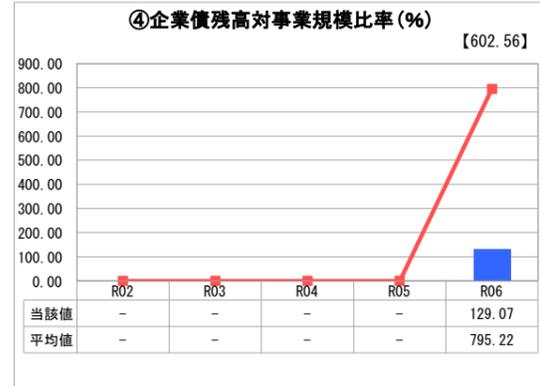
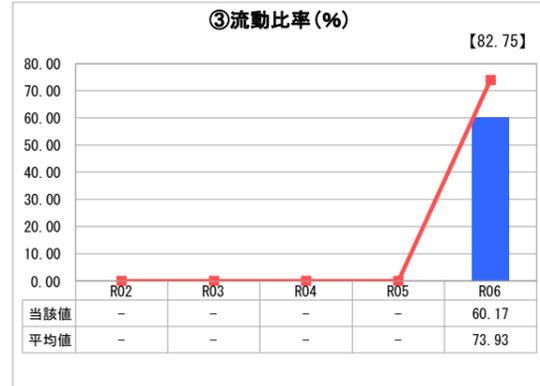
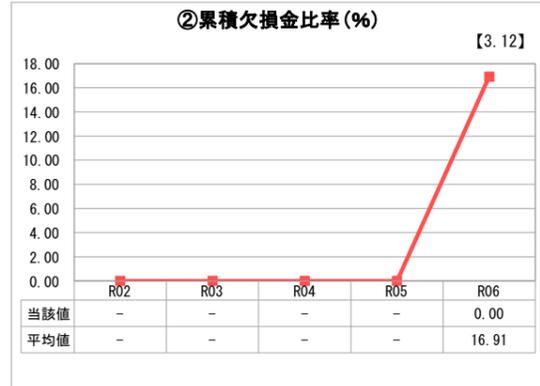
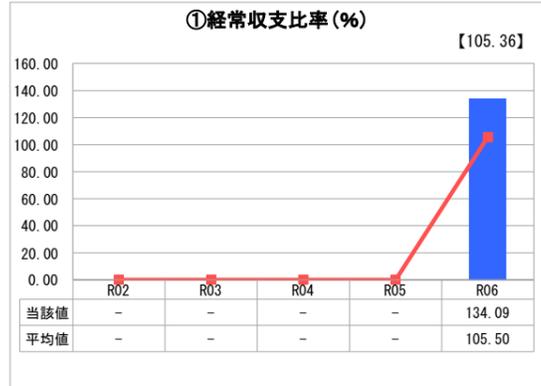
北海道 倶知安町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.97	70.47	78.05	3,400

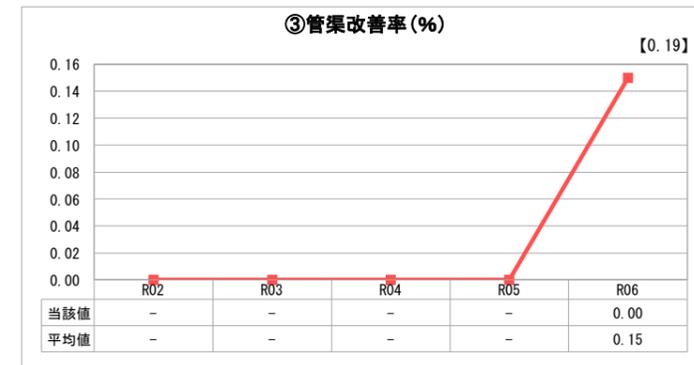
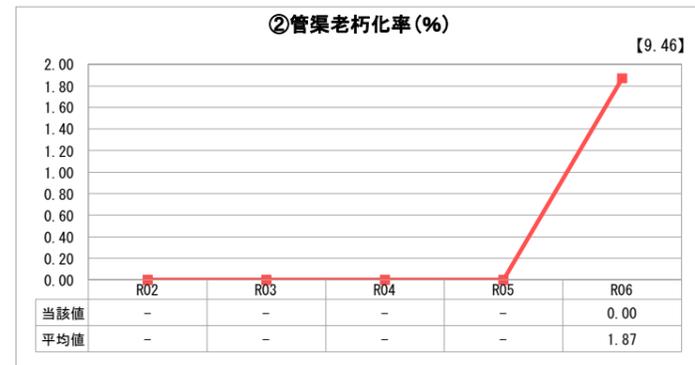
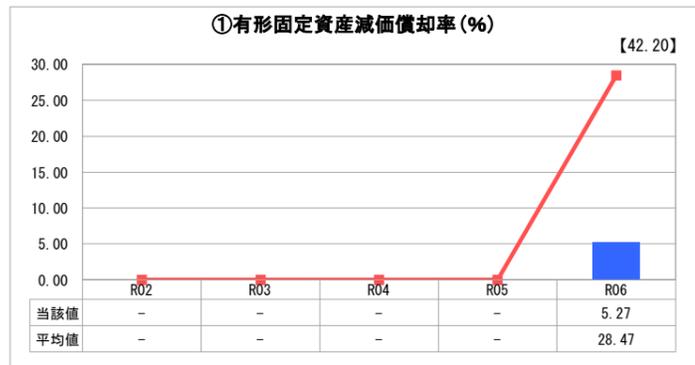
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,120	261.34	65.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,905	3.42	3,188.60

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 収益的収支比率
安定した料金収入等により、平均を上回る数値となっている。
一方で、今後も処理施設の老朽化や物価上昇により維持管理費は嵩んでいくことから、さらなる経営努力を要する。

② 流動比率
未払い計上等から、平均値をやや下回っているが、料金収入は安定しているため、そう遠くない期間で平均値周辺へ回復すると思われる。

③ 企業債残高対事業規模比率
処理場の更新は計画を立てて行っているが、国からの補助削減もあり、更新を延期する場合があります。類似団体平均値より大きく下回っている。

④ 経費回収率
新型コロナウイルス感染症の影響緩和から数年経過し、汚水処理費・料金収入が増加した。引き続き回収率100%となるよう経営努力する。

⑤ 汚水処理原価
汚水処理費の減少に伴い、平均を下回る数値に落ち着いている。

⑥ 施設利用率
特環地区と合わせた利用であることに加え、主に特環区域の将来的な観光人口の増加による利用率の増を見込んでおり、活用度合いには余裕がある。

⑦ 水洗化率
区域内はほぼ水洗化されているが、水洗化されていない家屋等についても、建替え・改築・異動等の機会に水洗化を進めている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
法適用1年目のため、平均を大きく下回る数値となっているが、定期的な修繕・更新は引き続き行う。

全体総括

施設の老朽化による修繕や更新もあり、経費が大きく減少することはない。今後処理区域内の人口や観光客数がどのように推移するかも不透明であるため、定期的な使用料の見直し等、収入確保と経費節減に向けて引き続き経営改善に取り組む必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。